

～いじめは 貧乏くじ～

市人権推進課（教育庁舎1階）

TEL 32・2122 / FAX 33・3525

宗教学者「ひろさちや」さんの著書のなかに、『いじめは貧乏くじ』とまたま引いただけで、本人は何も悪くない』のページが目にとまりましたので、ご紹介します。いじめについて、みなさん、ともに考えてみませんか。

高校時代に、ひどいじめに遭った。それから二年もたつのに、いまだに後遺症で悩んでいる。なにか忠告がほしい……。そんな手紙をもらった。

いじめの問題は難しい。

原因はさまざまにある。しかし、主たる原因は、今の学校教育が全般に余裕がなくなっていることだろう。いや、日本人全体が、競争、競争と、他人と競争することばかり考えている。そんな競争意識が学校に持ち込まれて、ストレスのたまつた子どもたちが、そのストレスを発散させるために弱い犠牲者をつくりだすのだ。私はそんなふうを考えている。いじめをなくすにはどうすればよいか……？ 本当に教育者も政治家も宗教家も、真剣に取り組まねばならぬ問題である。

ところで、その問題はしばらく別にして、ここでは、いじめを受けている人、かつていじめられた人のために書きたい。あなたがいじめられているのは、あなたが悪いのではない。そのことをしっかりと知っておいてほしい。

集団にストレスがたまつてくると、集団の中の一部の人々は誰かをいじめたくなる。しかし、強い人をいじめるわけにはいかない。それで彼らは、弱い者いじめをはじめなのだ。その

集団の中で、一番弱い人が犠牲にされる。いじめられる人は、たまにその集団の中でそんな損な立場にいた人なのだ。いわゆる貧乏くじを引かされたのだ。あなたよりもっと弱い人がいたけれども、偶然、その日に休んでいたのだから、それで難をまぬがれたのかもしれない。一度いじめられはじめると、人間はだんだん弱くなるから、余計にいじめられるはめになる。あなたがいなければ、きっと別の人がいじめられていたであろう。

だから、あなたは貧乏くじを引いたのだ。そう考えてほしい。そう考えると、少しは気が楽になると思う。自分が悪い——と思わない方がよいのである。

いじめられる側は「たまに貧乏くじを引かされただけ」で、「いじめる側が百%悪い」……。

正にそのとおりですね。

参考・引用文献
「のんびり生きて、
気楽に死のう」
ひろさちや・PHP研究所

6月1日は 人権擁護委員の日

法務省および全国人権擁護委員連合会では、6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、人権擁護委員制度の周知と人権思想の普及・高揚に努めています。

市人権推進課では、人権擁護委員の日に合わせて、全国一斉の人権相談を下記日程にて実施します。相談は無料、秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。

【日時】 6月3日(月) 13:00～16:00

【場所】 市教育委員会1階

お問い合わせは、市人権推進課（教育庁舎1階 TEL 32・2122 / FAX 33・3525）まで。

5月5日から児童福祉週間

平成25年度児童福祉週間標語



君がいる

ただそれだけで うれしいよ

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めています。

児童福祉に関するご相談などは、市児童福祉課（市役所1階⑩番窓口 TEL 32・2114 / FAX 32・3818）まで。